《長期使用構造等確認申請書に必要な図書》

一戸建ての住宅

No.	必要書類	特に注意すべき事項・記入内容
1	□ 確認申請書	□ 正・副 各1部提出してください。
2	□ 委任状	□ 申請者から委任を受けて代理で行う場合は添付してください。
3	□ 設計内容説明書	□ 認定基準の根拠となる設計内容、記載図書を示してください。
4	□ 付近見取図	□ 方位 □ 道路及び目標物となる地物
5	□ 配置図	□ 縮尺 □ 方位 □ 敷地境界線 □ 敷地内における建物の位置
		□ 依頼に係る建築物の他の建築物との別
		□ 擁壁並びに敷地に接する道路の位置及び幅員など
		□ 設備配管に係る外部桝の位置
6	□ 仕様書(仕上表を含む)	□ 部材の種別、寸法及び取り付け方法(該当する規格等を含む)
Ü		□ 仕様書以外の設計図書に明示されない技術基準事項が全て網羅されている仕
		様書であること
7	□ 各階平面図	□ 縮尺 □ 方位 □ 間取 □ 各室の用途 □ 壁の位置及び種類
		□ 開口部及び防火戸の位置、構造 □ 居室・出入口・廊下及び階段の寸法
		□ 階段の構造 □段差の位置及び寸法 □配管取り出し口及び竪管の位置
		□ 設備機材の種別(感知器、点検口、掃除口、換気扇、換気口、ダクト、手すり等)
8	□ 立面図(全面)	□ 縮尺
		□ 小屋裏換気口の種別・有効面積・必要寸法及び位置
9	□ 断面図 ·矩計図	□ 縮尺 □ 建築物の高さ □ 基礎高さ □ 床の高さ
		□ 各階の天井高さ □ 軒、庇の出、軒の高さ
		□ 外壁・屋根・天井・小屋裏・床・床下・基礎・開口部の仕様、構造
		□ 床下有効高さ □ 配管(コンクリート貫通部)
10	□ 床面積・敷地面積算定図	□ 住戸専用床面積(住宅部分及び非住宅部分に区分したもの)
		□ 敷地面積
11	□ 断熱等計算書	□ 断熱等性能等級5基準の計算書
		□ 一次エネルギー消費量等級6基準の計算書
12	□ 小屋裏換気計算書	□ 独立した小屋裏ごとに設ける換気口が所定の割合以上であること
		□ 所定の屋根断熱工法であること
13	□ 基礎伏図	□ 縮尺 □ 構造躯体の材料の種別及び寸法
		□ 床下換気口の有効面積・必要寸法及び位置
14	□ 各階床伏図 (軸組図)	□ 縮尺 □ 構造躯体の材料の種別及び寸法 □ 床下点検口
	(※建物の状況により軸組図も必	□ 壁及び筋かいの位置及び種類 □ 小屋裏点検口
	要な場合があります。)	□ 通し柱の位置
15	□ 小屋伏図・屋根伏図	□ 縮尺
		□ 構造躯体の材料種別及び寸法
16	□ 屋根伏図	□ 縮尺
		□ 構造躯体の材料種別及び寸法
17	□ 各部詳細図・金物配置図	□ 縮尺
		□ 各部の材料種別及び寸法
18	□ 各種計算書	□ 構造計算書、構造チェックリスト
		□ 仕様規定検討書等
		(○壁量※ ○壁バランス ◎床倍率 ○接合金物※ ○基礎※ ◎横架材)
		○は耐震等級1の場合 ◎は耐震等級2以上の場合 ○に追加されるもの
		※は耐震等級2以上の場合に別途追加検討が必要
		□ その他評価に必要な計算(省エネ※ 換気等※等級2以上~
21	□ その他資料	□ 地盤調査書
		□ スパン表(横架材、基礎等の構造計算の代用と認められるもの)
		□ 断熱材の性能を証明する性能表、カタログ類
		□ 開口部(サッシ、ドア類)の性能を証明する性能表、カタログ類
		□ 一次エネルギー消費量算出のための各種設備類の性能表、カタログ類
22	□ 認定書、証明書等写し	